

事業シート11

課コード: 005110000
 担当組織: 指導課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 宮地 幸宏

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 04	05	0139	01	013911

款	項	目	事項
予算コード 46	01	16	36

款	項	目	事項

事業名: 学校・幼稚園特色化推進事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	75,025	73,898	1,127		0.2	0.2	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
		73,898					0

事業の目的

本事業は、子どもたちが夢と希望をもって幼稚園・学校生活を送ることができるように、幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって特色ある園・学校づくりに取り組むものである。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

【事業組織及び形態】

各園・学校において、家庭や地域と連携を図り、夢をはぐくむ園・学校づくりを推進するため、地域有識者・健全育成会・PTA代表・教職員代表等で組織した推進協議会に事業を委託する。

【事業項目】

夢をはぐくむ園・学校づくりに向け、授業の充実、交流教育、ボランティア活動、体験学習、家庭教育及び部活動の推進など、各地域の特色や子どもの実態に応じたその園・学校ならではの取組を実施する。

【事業手続】

各園・学校の推進協議会は、年度当初に実施・予算計画などを立て、教育委員会に提出する。また、年度末には、園・学校ごとに取組概要・成果、課題を協議し、書面にて教育委員会に報告する。

【予算配分見直し】

24年度より、これまでの学校規模に応じた予算配分の方法を見直し、特に「心の耕し」「授業(保育)改善」を推進するために企画提案した事業に対して、教育委員会で選定し、小中学校の推進協議会には10万円、幼稚園の推進協議会には5万円の委託料の加算を行う。

【情報公開】

「夢をはぐくむ学校づくり」の取組について、全園・全学校の特色のわかる「概要」や「成果・課題等」を教育委員会ホームページにて掲載する。

委託料を加算した園・学校の推進協議会は、特色ある取組や子どもが夢や希望をもって学び続け成長している姿を、ホームページや学校だより等で随時公開し、他の園・学校に特色化を広げ、取組の普及を図る。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

【各園・学校の取組】

各園・学校では、体験学習や交流学習の充実、授業改善への研修などが積極的に行われ、各地域や子どもの実態に応じたその園・学校ならではの特色ある取組がなされている。

例えば、次のような取組がある。

- ・県内有数の花産地として、地域の方から土選びや栽培の知識を教わると共に、地域のお年寄りや公共施設に花を贈った。この活動を通して、自然を大切にする態度や思いやりの心を学んだり、地域や保護者の人々との絆を深めたりした。
- ・外国語の講師や各界の専門家を招聘して、外国語活動や総合的な学習の時間の充実を図っている。この活動を通して、英語を使って人とかかわる楽しさを味わったり、夢を持つことの大切さを理解し希望を膨らめたりした。

【企画提案による応募】

委託料加算方式を加えたことにより、企画提案に応募した学校が、23年度末は、幼稚園30園、小学校70校、中学校36校、合計136校園であった。選定の結果、小学校11校、中学校6校、幼稚園6園の23校園に平成24年度委託料の加算を行った。この配当方法の見直しによって、ますます「心の耕し」や「授業(保育)善」の推進を意識した取り組みが増え、夢をはぐくむ園・学校づくりの推進が図られることが期待できる。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 12 年	年	自治事務	夢をはぐむ園・学校づくり推進事業実施要項					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	-							
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	75,025	75,025	73,898	73,898	73,898	296,719
	決算	75,025	75,025				75,025
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他						0
	一般財源	75,025	75,025	73,898	73,898	73,898	296,719
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	6,400
内訳	人工(正規)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	人工(非常勤)						
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		76,625	76,625	75,498	75,498	75,498	303,119

成果指標1 推進母体となる協議会の設置率(協議会の設置校(園)÷校(園))							
種類	アウトプット(活動指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	%	100	100	100	100	100
	実績	%	100	100			

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

地域の実態や地域ならではの人・もの・ことを生かし、教育に取り入れることができた。
子どもたちは、本物と出会ったり、実際に体験したりすることを通して、社会人や地域の方など様々な人とふれあう機会が増え、命の大切さや夢と希望をもって生きることの大切さを実感することができた。

学校運営に参画する保護者・地域住民が増え、保護者や地域の信頼も得られている。
講師などを招聘して授業研究を行うことにより、新しい学習指導要領に沿った授業改善・保育改善が進んだ。

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

子どもたちが夢と希望をもって幼稚園・学校生活を送ることができるように、学ぶ喜び・充実感を味わうことや、人とのかかわりを深めることが必要であり、園・学校は地域や子どもの実態に応じた特色ある取組をしていくことが求められている。廃止した場合には、地域や子どもの実態に応じた体験活動や学習などは縮小または中止せざるを得なくなったり、授業改善のための研修の推進が停滞したりすることが考えられる。

特色ある取組を継続しようとする園・学校は、園・学校の予算がないため、保護者に経済的負担をかけることが考えられる。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

浜松市立各園・学校の特色化は、市が実施主体となって支援しなくてはならない。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

各園・学校の特色化は、今後も積極的に推進していきたい。

(4) 改善: その他改善

(理由)

その他:各園・学校の推進協議会の成果を各園・学校のホームページや学校だよりなどで随時公開し、成果指標の方法を改善する。

今後の方向性 改善

年度末に各推進協議会の事業の成果を公開し、次年度の取組に生かすことにより、今後も家庭・地域と連携を図り、各園・学校が特色ある学校(園)づくりを積極的に推進していく。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

全園・全学校の実績報告を教育委員会のホームページで情報公開した。(平成22年度～)
これまでの学校規模に応じた配分を見直し、「心の耕し」又は「授業(保育)改善」を強く推進すると認められる推進協議会に対して、幼稚園6園、小学校11校、中学校6校、全23校園に5～10万円の委託料の加算を行い、配分方法を変更した。(平成24年度～)

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

実績報告書に記載されている各園・学校の取組と成果等について、毎年度教育委員会のホームページでの公開を更新していく。

特色化推進のための企画提案による委託料加算の方式を拡大していく。

加算した推進協議会については、特色ある取組を各園・学校のホームページで随時公開することを推し進める。

学校・幼稚園特色化推進事業

- 1.事業の目的
- 2.事業の内容
 - (1)事業の形態
 - (2)事業項目
 - (3)予算配分の見直し
 - (4)情報公開
- 3.事業の事例
- 4.事業の成果
- 5.事業の検証

浜松市教育委員会 学校教育部 指導課

1. 事業の目的

【めざすこと】

子どもたちが夢と希望をもって幼稚園・学校生活を送ることができるように



【行うこと】

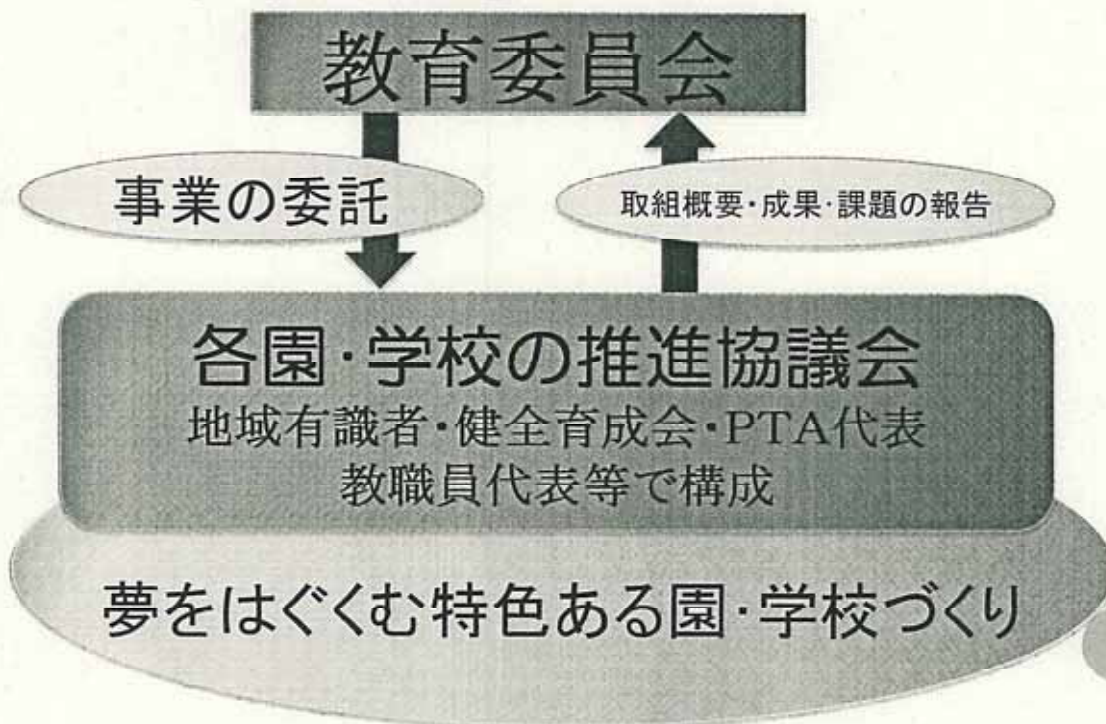
幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって特色ある園・学校づくりに取り組む

特色化とは？

子どもたちの夢をはぐくむための、各地域の特色や子どもの実態に応じたその園・学校ならではの教育活動のこと

2. 事業の内容

(1) 事業の形態



(2) 事業項目



(3) 予算配分の見直し

【H23まで】

学校規模に応じた予算配分



【H24】

「心の耕し」「授業(保育)改善」を推進するために企画提案した事業に対して、教育委員会で選定し、委託料の加算を行う。

(4) 情報公開

教育委員会

- 各園・学校の取組概要と成果をホームページで掲載

ホームページ



各園・学校

- 学級便り
- 学年便り
- 学校便り
- ホームページ
- 新聞
- 活動に保護者や地域の方が参加

学級便り



新聞



3. 事業の事例

生徒ら丹精の鉢植えを寄贈



2年生から鉢植えを手渡される小林院長から
＝浜松市中区富塚町の浜松医療センターで

庄内中 40年以上の伝統

浜松市庄内中学校（西区庄内町）の生徒らが十一日、病院やホテル、図書館といった市内五十箇所の公共施設などを訪れ、スプレーの鉢植えを寄贈した。（赤野嘉幸）

病院など公共施設を訪れ

県内有数の花産地をアピールしようと、四十年以上続けている伝統行事。全校生徒二百八十一人が七月初旬に苗を植え込み、花が咲き始めた五百七十鉢を十分けて配布した。

このうち浜松医療センター（中区富塚町）には、二年生十二人がピンクや黄色のかわいらしい花をつけた二十四鉢をプレゼントした。リーダーの坂本優紀さん（二）は「訪れる人たちの心を和ませ、みんなを幸せな気分にして、くれることを願っています」とあいさつ。看護部長と出迎えた小林院長が「花にはフレイバー（香り）という治療効果が期待される。患者の気持ちを和やかにしてくれるはず」とお礼を述べ、ごっこを園周辺に鉢を並べた。

感謝状

浜松市立庄内中学校 様
貴校は本医療センターに
ポットマムを寄贈され
心温まる病院環境づくりに
多大なるご協力をいただきま
した
ここに深く感謝の意を表します

平成23年10月11日
浜松医療センター
院長 小林 隆

庄内中学校の皆さんへ

庄内中学校の皆さん、こんにちは。
先日は、素敵なポットマムをいただき、ありがとうございました。
早速、秘書課や市役所の玄関に置きさせていただきました。
色鮮やかなポットマムに、皆さんからのメッセージが添えられて
いて、とても心が温まりました。メッセージにあるように、皆さん
が大切に育てたポットマムを見て、私たち職員はもちろんのこと、
秘書課や市役所を訪れる方が幸せな気持ちになることと思いま
す。花を育てることは大変だと思います。来年もきれいな花が育つよ
うに期待しています。

平成23年10月11日

秘書課長 山名 新

庄内中学校の皆さんへ
先日は素敵なポットマム
をいただき、ありがとうございました。
病院内に飾りつけられ
るの、心温かい感じが
します。
本当に感謝いたします。

浜松市立庄内中学校の皆さんへ



Explorer

Google

H)

ページ(P) セーフティ(S) ツール(O)

浜松市立西小学校

Hamamatsu Nishi Elementary School



5年生の外国語活動、本日のスペシャルゲストはStephanieさんです。



子どもたちは、Stephanieさんの発声に続いて、大きな声で「Where do you live?」と問、掛けたり、「I live in～」と答えたりすることができました。



西小学校の先生が全員参加して、6年1組で外国語活動の提案授業を行いました。



子どもたちは、いつものとおり、笑顔いっぱい、やる気いっぱいでもり盛り！

イチローやアンソニー・アム、Cand がスペシャルゲストとして登場すると、子どもたちのデモンショは最高潮。自分の夢を伝えたい、友達が興味を持っている職業を知りたいという気持ちで、うずうずしている様子が手に取るように分かりました。

T432-8024 静岡県浜松市中区鶴江町70-1 TEL 053-452-1171 お問い合わせ・メール

4. 事業の成果

- 地域ならではの人・もの・ことを生かした教育活動の充実
- 子どもたちが社会人や地域の方など様々な人とふれあう機会の増加
- 学校運営に参画する保護者・地域住民の増加→学校への理解と信頼の深まり
- 新しい学習指導要領に沿った授業改善・保育改善の推進

5. 事業の検証 全学校・園

学校・幼稚園特色化推進事業は、特色ある学校・園づくりに役立っていますか？

大いに役立っている	95%
役立っている	5%
役立っていない	0%

全体



- 大いに役立っている
- 役立っている
- 役立っていない

平成23年度『はままつ人づくり』検証報告書より

講演する荒川さん(左)と北星中



「自分信じ、勇気を」

北区・北星中作家荒川さん講演

浜松市立北星中（同市北区初生町）は14日、作家の荒川祐二さん（25）＝東京都＝を招いて講演会「夢を言ひ会」を開いた。荒川さんは「自分を信じて、一歩踏み出す勇気と諦めない覚悟を持って」と語り掛けた。自分自身が嫌いだっただけで、荒川さんは上智大3年のことをする必要はない。

とき、「自分を愛えたい」今できることから踏み出して、と生徒らにエールを送った。

全校生徒約700人や保護者が聞き入った。1年の佐藤真菜さん（12）は「目標に向かって明るく頑張りたい」と話した。関西のバンド「おかん」の演奏も披露された。

夢や志を見つめる講演会

